

研究タイトル:

東アジア思想史



氏名:	関 幹雄／SEKI Mikio	E-mail:	seki.mikio.304@miyakonojo.kosen-ac.jp
職名:	准教授	学位:	博士(工学)
所属学会・協会:	日本中国学会・九州中国学会		
キーワード:	東アジア思想史、日本漢学、朱子学、陽明学		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文学、古典学 ・日本語表現指導 		

研究内容: 日本江戸期の朱子学・陽明学
思想史研究

儒学思想、その中でも朱子学・陽明学について研究しています。特に、江戸時代の学者 山崎闇斎(1618–1682)とその学派についての研究を続けています。山崎闇斎学派(通称「崎門学派」)の門人たちは全国に展開し、江戸前期～幕末明治にかけて講学活動を行いました。彼らの講学活動を、資料収集と基盤として明らかにしようとしています。

この研究を進めるには、日本のみならず「東アジアの思想史」についても把握しておかねばなりません。江戸時代の学者たちは、中国(特に宋明時代の)儒学と朝鮮儒学の影響を多分に受けているためです。

したがって「東アジア思想史」という大きな視点から比較研究を進めています。

文献研究

思想(史)研究の土台となる文献研究に注力しています。漢文、あるいはくずし字(変体仮名)によって書かれた資料の読解を積み重ね、その成果として訳注や翻刻を精力的に発表しています。

古典籍についてもデジタル・アーカイブ化が急速に進みつつありますが、そもそも資料自体の来歴が分からないものや、整理されていない写本類などが多く眠っています。その整理と評価を進める文献学的研究も行います。

地域研究

江戸時代、現在の宮崎県には様々な藩が存在し、多くの儒学者が活躍していました。高鍋藩の藩校 明倫堂もその一つで、千手廉斎の建議で設立されたものです。廉斎は朱子学を学び、前述の崎門学派の流れを汲む学者です。そのため、明倫堂の文庫(書庫)には朱子学関連・崎門学派関連の書物が多く残されています。当時の状況・文化・教育制度を知る有力な知的遺産を手がかりに、地域研究と日本漢学研究、東アジア思想史研究を有機的に進めていきたいと考えています。

提供可能な設備・機器:
名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	